



青南だより

平成30年6月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<工夫と改善を重ねて>

6月21日は、恒例の『青南まつり』があります。この行事は、地域の皆さんに青南幼稚園の保育の様子を見て、体験していただき、幼児教育についての理解を深めてもらう事業（幼児教育振興対策事業）でもあります。園児数が少なかった頃は、保護者のコーナーも多かったようですが、3年保育が始まり、園児数が増えたことなど、様々な状況に合わせて毎年改善を重ねてきています。係の皆さんが準備をしている姿や家庭で話題になっていくことで、徐々にその雰囲気が高まっていきます。

<みんなで手づくりする『青南まつり』>

写真は昨年の様子ですが、浴衣や甚平を着て、賑やかな雰囲気の中、かえで組や保護者の手作りコーナーを楽しんでいただきます。日本の伝統文化の体験として踊りの先生にも来ていただき「盆踊り」も楽しめます。もう少しすると、かえで組が楽しいことを相談し始めることとなります。大勢のお客様への対応はまだ難しいので、保護者の皆さんに協力してもらいながら、自分たちで作った満足感が味わえればと思います。3、4歳児はお客として楽しむ中で、憧れる気持ちをふくらませます。

<未来の青南の子どもにも思いを込めて>

青南幼稚園は、様々な形で地域の方々に応援してもらっている幸せな幼稚園です。周年やおまつりを元保護者の方々に応援してくれることは、決して当たり前ではありません。これは、幼稚園や保護者会の活動が『心のふるさと』となっているからだと言えないでしょうか。さらに、現在している活動は、今在籍している子どもだけではなく、未来の青南幼稚園の子どもたちのための活動でもあるのです。子どもたちを地域で育て『心』が代々受け継がれてきていることは、青南幼稚園と保護者会、青山・表参道という地域の誇りであり、自慢でもあります。

青南の 二十四節気

・・・水無月（みなづき）・・・

芒種（6日）…紫陽花が色付き始めます…

夏至（21日）…水遊びが気持ちいい季節です…

青南幼稚園の園庭には実のなる木が多くあり、もも・ぶどうなどがおいしそうに実を付けています。特にあんずは、きれいなオレンジ色に色付き始め、収穫が楽しみです。近々、ジャムにさせていただく予定です。

また、昨年ご紹介した幼稚園近くのマンションの軒には、今年もツバメが巣を作って卵を温めている様子が見られます。南青山の豊かな自然を再発見し、日々の遊びや生活を豊かにしていきたいと思えます。



かえで組はグループで出し物を考えます



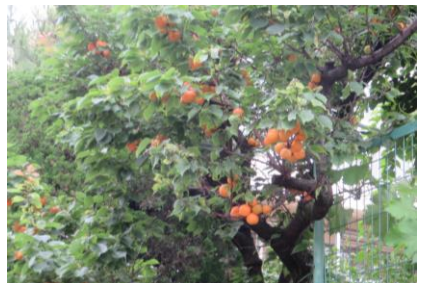
保護者の皆さんの出し物も多彩です



盆踊りをみんなで一緒に踊って楽しめます



ソラマメはふわふわのベッドに入っていたよ



あんずがおいしそうに色付きました